

質 問 回 答 書

次の工事に関する質問に回答します。

令和7年6月25日

工 事 名：R7企総管 古屋谷川 支水路大戸注水口補修工事

工事箇所：那賀郡那賀町大戸

番号	質問事項	回答
1	ひび割れ注入工、充填工養生について 設計書には各工種の養生について、人件費のみの記載ですがブルーシート敷程度の養生と考えて良いですか。	その通りです。
2	目地補修工法について 目地充填工法の単価表3号に箱抜きという記載があります。単価表48号にはコンクリ-トカッターブレードの記載がありますが、箱抜きの寸法はどのようなものですか。寸法によれば、はつり機械も必要となります。また目地設置工単価表49号にある止水版はかなり大きな物と思われるのですが、その使用は現地に合っていますか。加えてエッチングプライマーは記載のある規格か同等品の物でよろしいのでしょうか。	図面(図面番号3/37)のとおりです。 必要に応じて設計変更の協議の対象とします。 エッチングプライマーは記載の同等品以上の使用を可とします。
3	断面修復工 劣化部除去について 劣化部除去について、設計書には機械施工となっていますが、現地では人力によるはつり施工でないと、困難に思われます。	必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
4	表面被覆工法 高圧洗浄について 総括表内の(表面被覆工+繊維シート)の表記は、各施工箇所を高圧洗浄機による洗浄を行う事によろしいですか。また高圧洗浄について、単価表7号に吐出量35~70/min、圧力30Mpaと設計されていますが、圧力30Mpaを満たす洗浄機は重さが400kg以上あり、吐出し圧力が強いので、施工箇所での移動や8時間の使用が困難と思われます。過去の経験では10Mpaでの機械でないと8時間使用する事も出来ませんでした。設計は適切ですか。	高圧洗浄を行います。 必要に応じて設計変更の協議の対象とします。

番号	質問事項	回答
5	仮水路工 暗渠排水工について 設計図面には暗渠排水工の端末 (No.127+8.100) 付近の断面がわかりません。暗渠排水は何の水をとる目的と、どのような効果を目的として設計されていますか。	導水トンネル下に伏流する水をダム湖に排出するものです。 特別な断面はありません。
6	図面番号3/37 補修工一般図 (断面 (2) 付近) について1号擁壁コンクリートと既設水路工の間に表面処理工がありますが、表面処理工法を施工した上で、擁壁コンクリートを施工するという事でよろしいですか。	その通りです。 必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
7	表面被覆工 (吹付) と表示してありますが、左官工による被覆ではないのですか。	図面(図面番号3/37)を訂正します。
8	図面番号31/37 トンネル仮設備工について 各平面図には (蛍光灯400W) と記載されておりますが、各側面図には(蛍光灯40W)となっています。どちらが正しいのでしょうか。	40Wが正しいです。関係図面を訂正します。
9	仮設工 工事用道路土砂について 現場説明書に建設発生土は長安口ダム堆砂置き場からの運搬搬出となっておりますが、置き場箇所管理者との協議は完了しておりますか。また土砂は無償ですか。	河川管理者との協議は完了しており、土砂は無償となります。ただし、作業に当たっては打ち合わせが必要です。
10	仮設工 工事用道路 (単価表15号 防草シート) について 防草シートの規格はどのようなものですか。	幅1.2m×長50m ポリエステル 目付量150g/m ² 以上を想定しています。
11	仮設工足場工について 足場の設計条件は (傾斜地、標準) となっております。作業員の移動のための足場では問題ありませんが、構造物補修の施工時には、補修資材、使用する機械を搬入した場合、約1トン以上の荷重がかかります。作業足場だけでなく、施工には作業構台としての強度が必要になってきますが、協議の上での変更は可能ですか。	必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
12	図面番号37/37 Step⑪ 濁水処理施設について 文中にある濁水処理施設はどのような規格を求められますか。記載がこの部分しかありません。	土工による現況合わせの簡易な釜場を想定しております。必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
13	施工時のダム水位について 現時点で長安口ダム管理所と水位についてどこまで協議されておりますか。(想定工期内での水位や、下がっている期間等)	河川管理者と協議のうえ、図面(図面番号21/37～図面番号25/37)に工事期間中 (11月及び12月) の水位 (DL+221.10m=TP+217.00m) を示しております。

番号	質問事項	回答
14	<p>現況ダム水位と、公開されている設計図面に記されたDL（水位）について</p> <p>2025年6月23日AM10:00時点でのダム水位は（国土交通省 川の防災情報）において、DL=222.4となっておりました。施工箇所に行き、現況水位を図面番号4/37 補修工一般図内の側面(1)に記載の構造物にトレースしてみたところ、表示してあるDL=220.000との差異が約4mほどありました。設計図書各図面（縦断、一般、横断）に記されているDLは現地と相違ありませんか。・・・・（最後尾に図面添付）</p>	<p>TP+4.10m=DL+0.00mになります。なお、国土交通省の川の防災情報で確認できる長安口ダムの諸元の高さはELで、DLに近い値のものですが完全には一致していません。</p>
15	<p>図面番号37/37 施工要領に記載されている水位について</p> <p>Step⑤について通常水位とありますが通常水位の高さは何mをお考えでしょうか。またStep⑧に（コンクリート養生完了後、ダム水位を常時の水位へ戻しておく）との記載があります。質問⑩と重なりますが、図面との相違があれば仮設作業足場の施工や、施工工程に影響してくると思われます。</p>	<p>施工時期の通常水位はDL+224.00m=TP+219.90mを想定しています。</p>